

## ◆SA守口・門真の会

### 児童と福祉体験会を開く

幸田益光

小学校福祉体験学習が開かれるので、手伝う事になりました。門真市保健福祉センターで午前10時より12時まで行なわれます。4年生109名、教員4名（養護学級担当1名）4年生全員が各自希望するグループ（約36・7名）に分かれて学習する事になっています3グループに分かれ、そのグループごとにテーマがあり、それを学習する事に決まっています。

10時先生より学習全体の説明と、センター内での注意事項の話がありました、また4階から1階まで使用する関係で、門真市社会福祉協議会職員からも館内の説明と重装具、車いすで通行出来る範囲に付いても注意事項が重ねて話されケガのない様に、危険な場所に入らないようにと説明がありました。

◎時間 10時開始 11時30分終了・20分質疑応答、振り返り感想・11時50分終了挨拶・解散。

◎3グループの内容と参加指導グループ

- 1) 高齢者疑似体験及び車いす体験（重装具を身体に着けて・車椅子の扱い）SA守口・門真の会員8名、車椅子ダンス会員3名、
- 2) 手話の基本学習（名前・単語または挨拶）手話グループより指導者5名
- 3) 点字の基本的学習（名前・文章）点字サークルより指導者6名

SAグループが担当した重装具・車いす介護の仕方に36名が来ました、2組に分かれ前半、後半で交代をして全員が実習体験できるようにしました。

重装具の内容は手、足、腕、手首、胴各重りが付いています、ゴーグル・杖、などを、重装具は5組あり3人1組で順番に身体に装着して4階の部屋より30m歩きエレベーターに乗り1階に降り50mほど休み休み歩き又4階の部屋に



戻り次の者と交代して、同じコースを又階段を上り下りする児童もいました。

車いすでは車いすの各部所の名称、扱い方から注意事項（危険な扱い方、乗り降り）実際に閉じた車いすから開いて乗れる手順を説明し、1台を二人組みで乗る者押す者会員1人が介添えして4階から1階へ重装具のコースと同じように交代をしながら体験をしました。

両方の体験を終えて振り返り多くの感想や疑問を持ちながら学校に帰り作文にまとめることになりました。実感として1日だけだと楽しいと思ったが身体が不自由なると大変だなーと思いました。今日の体験学習で車いすの事や高齢者のことをいっぱい学びました、体験学習のことを活かして行きたいと思います。4年生では立派なまとめだと感心しています。



教えてくれる人は優しく親切に教えてくれてすごくいい人達でしたと発言があり、年甲斐もなく嬉しくなり疲れも何処かへ飛んで行きました。私達も体験を手伝って何時までも元気で過ごしたいと感じました。事故もなく終わりよい体験をしました。

手話の話し・点字の話しはまたの機会に！